

自治体
の紹介

1. 七尾市の概要

本市には、開湯1,200年の歴史を誇る和倉温泉をはじめ、能登の里山里海の豊かな自然があり、そこから育まれた食、歴史や文化、祭りに携わる人々のつながりが魅力です。

近年では、市内に実在する高校が舞台となり、アニメ化・映画化された人気漫画『君は放課後インソムニア』を活用するなど、交流人口や関係人口の拡大に向けた新たな取り組みも行っています。

人口45,897人 世帯数21,165世帯（令和7年5月末現在）

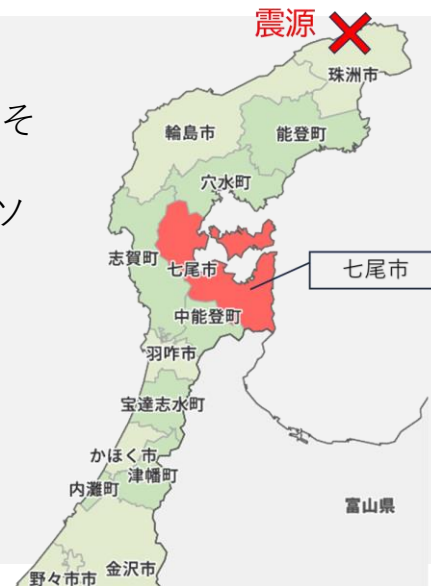
2. 地震の概要

(1) 発生時刻

令和6年1月1日
午後4時10分

(2) 地震規模

マグニチュード7.6
震度6強（七尾市）



被災状況

3. 被害の状況

(1) 人的被害（令和7年4月22日現在）

死亡	50人（うち災害関連死45人）
負傷	重症34人、軽傷3人



(2) 住家被害（令和7年4月25日現在）

全壊	538件
大規模半壊	507件
中規模半壊	1,106件
半壊	3,427件
準半壊	3,699件
一部損壊	7,679件
合計	16,956件

(3) インフラ被害（令和6年9月6日現在）

道路	563路線
河川	28河川
農地	77か所
農業用施設	234か所
林道	4路線
漁港	16漁港
港湾	3港
水道	ほぼ全域で断水 ↓ 4/1断水解消

これまでの
取組

4. 復興に向けた取組み

(1) くらしの再建

避難所	最大 27か所
避難者	最大 2,681人

(令和6年1月5日現在) ※自主避難所を除く

⇒ 令和6年9月8日、最後の避難所を閉鎖

(2) なりわいの再建

● 和倉温泉旅館の休業：15館／20館

(令和7年4月28日現在) (組合加盟分)

応急仮設住宅 13団地 575戸	568世帯 1,221人
みなし仮設住宅	596世帯

(令和7年4月25日現在)

① 被災建物の解体(公費・自費)

- ・ 申請棟数：5,398棟
- ・ 解体済：2,688棟
(解体率：49.8%)

② 自宅の自主再建支援

① 国や県と協力した 和倉温泉の護岸の早期復旧

② なりわい補助金の活用支援

③ 商店街仮設店舗の提供

- ・ 一本杉通り〔4店舗〕
令和6年8月17日開業
- ・ 和倉地区〔8店舗〕
令和7年2月21日開業



今後の
取組み

5. 復旧から復興に向けて

① 解体空き地の活用促進

- ・ 一人一花運動
- ・ 空き家バンク

② 農地・漁港の早期復旧

- ・ 農地や農業用水路などの小規模な修繕
- ・ 農業用機械の修理・再取得、農業施設などの修理・再整備

③ 「復興公営住宅」の建設

- ・ 「災害公営住宅」→「復興公営住宅」
復興により前向きなイメージ
- ・ 380戸の計画



6. 災害に強いまちづくり

- ライフラインの強靱化
上水道の長期断水(最長3か月)
- 人と人との絆の強化
地域コミュニティ機能の再生

① ライフラインの復旧と強靱化

② コミュニティ拠点施設の再建
(集会所、神社など)

③ 地域人材の育成と外部人材の活用

④ 地域活動の活性化

⑤ 祭りの再興



その他の
取り組み寄附を
する
メリット
等

連絡先



※人口減少 平成16年10月 61,871人 ▶【15,861人減少（25.6%）】▶ 令和7年3月末 46,010人

7. まちの持続に向けた取り組み

(1) 子育て支援プロジェクト

- ・子どもの遊び場整備事業
- ・学校部活動及び新たな地域クラブ活動の推進事業
- ・ICT環境を活用した情報活用能力の育成事業

(2) 和倉温泉創造的復興プロジェクト

- ・自動運転EVバス実証実験事業
- ・観光コンテンツ創出
- ・温泉を活用した脱炭素化推進事業



能登半島地震で甚大な被害を受けた七尾市（和倉温泉）への復興支援によるメリット

自治体との連携強化・新たな事業機会の創出

企業イメージやブランド価値の向上

企業の社会的責任（CSR）が評価されます

市ホームページに企業名を記載

市より感謝状を贈呈いたします



はしもと どうわき まさうじ

七尾市役所 企画政策課 ふるさと納税推進室 橋本・堂脇・政氏

☎ 0767-53-3311

✉ furusato@city.nanao.lg.jp